## 意した。両社の親会社 り、このほど大筋で合 管について協議してお 建材は今春から事業移 道をはじめ東北、中 |1億円。同本部は北海 一部、関西、九州の5拠 容は21年3月期で34 |機器ほか)と欧州・米| したサン建材を起源と 材本部は一般住宅建材 (木質、非木質、住宅 | とニチメン建材が合併

双日建材と三菱商事 | 大型パネルチーム。業 | 移管することになる。 | を引き受ける 「、建築(資材、施工)取込み総合建築資材商社 三菱商事建材木材建 双日建材は2000

込むことで総合建築資材商社への基盤整備につなげることが狙い

日建材は売上高2000億円への足掛かりとともに、建材、住宅資材全般の事業を取り 連の事業買収額は明らかにしていないが、事業譲受規模は340億円超が見込まれ、双 建材事業や大型パネル事業を譲受することを明らかにした。2022年3月1日付。 双日建材(東京都、稲田隆社長)は5日、三菱商事建材(同、山水聖治社長)の木材

上げる一方で、逆の環

商品分野で高い収益を

合板・木材など市況

が極度に低迷するなど

境になった場合、業績

きると判断した 分野での営業を展開で ることで総合的な事業 | 材建材事業を受け入れ

業績の波が大きい。

双日建材は、これま

材建材事業の1カ月分

しは、三菱商事建材木

同社の今期事業見通

円、当期利益4億98 | 建材、住宅機器、さら

には住宅・非住宅建設

や資材販売分野への領

利益10億500万 安定強化する一方で、

SMB建材よりも〇・ | 域拡大を目指してきた

が、三菱商事建材の木

利益率は〇・64%と、 〇〇万円で売上高経常

と考える」と述べてい

ンスある事業領域が確

保できるのではないか

込むことにより、バラ ポートフォリオを取り

双日建材にない事業 稲田双日建材社長は

一資材営業本部に、支店

一双日建材の建設・住宅 るが、木材建材本部は 点に支店・出張所があ

加製材品などを販売し

して21年の歴史を持

年7月に日商岩井建材

での素材分野の事業を一を取り込むなどして売

込んでいる。

当期純利益15億円を見

超、経常利益20億円、 上高は1700億円

- 化を目指す点で話し合一ほかは東日本・西日本 関連事業会社の育成強 社があり、住生活資材 るのは、三菱商事建材 いを進めてきたもの。 が共同出資する事業会 である双日と三菱商事

双日建材が引き受け

れ配属される。

| 営業本部傘下にそれぞ | 同出資するウッドステ | といった素材系資材に

ーション(千葉市、塩

強く、なかでも内外産

商事建材など4社で共

型パネルチームは三菱

B建材に次ぐ3位。合

| 〇〇億円(推定)。大 | では伊藤忠建材、

ている。うち建材で3|ち、建材商社の売上高

達部、住宅建材部)と「事業とともに従業員を「建材は同社株式の一部」だ。 木材建材本部(木材調

社分割によるもので、

般を管轄するが、双日

高収益を上げる会社

績を見ても、売上高1 629億円に対し経営

この21年間の平均業

今回のスキームは会

|地博文社長)の事業全 | 合板や輸入木材で時に